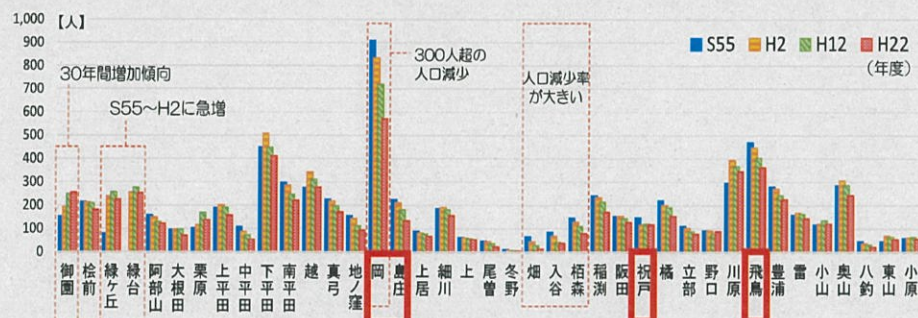


4. 飛鳥宮跡周辺地区の現状と課題

(2) 空き家の現状と課題

課題2：人口減少により増加する空き家の活用取組の拡充が必要

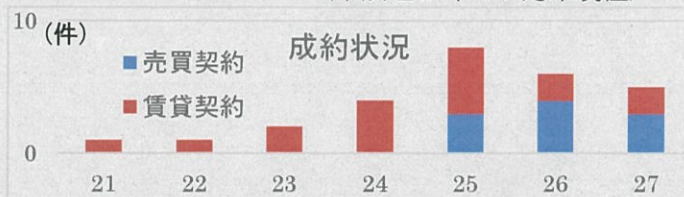
- ・村全体の将来人口も益々減少すると推計されている中でも、本地区は人口減少が著しい地域を含んでおり、今後さらに空き家の増加が危惧される。
- ・空き家の増加は、景観の悪化、まちの安全性に対する懸念の増大に繋がる。
- ・村では、特別用途地区の設定により観光関連施設の立地を可能とするとともに、空き家バンク制度を創設し、空き家の活用支援を行っている。空き家利用の成果も上がっており、物件登録数に対する利用希望登録者数が非常に多いことから、空き家の有効活用を図ることが可能であると思われる。



大字別人口の推移 (出典：明日香村資料)

空き家物件登録数	14件 (内 土地2件)
利用希望登録者数	239人

(平成28年11月末現在)



空き家バンク制度の成約状況の推移

出典：明日香村資料

(3) 景観の現状と課題

課題3：歴史的風土の継続した保全活動の継続が必要

- ・歴史的風土の維持向上を目指して岡地区の一部では無電柱化整備が完了したが、引き続き、本地区の無電柱化の推進が必要。
- ・地区内では、企業や景観ボランティア団体による景観保全活動が行われている。また、古都法により買入地も含め飛鳥宮跡の田園風景を村民により維持管理活動が行われているが、飛鳥宮跡に接する万葉集に詠われた飛鳥川の景観に配慮した維持管理や年々増加する古都法による買入地の景観保全など、担い手の高齢化に対応した良好な景観保全活動が必要。



景観を阻害する電柱・電線類



万葉集に詠われた飛鳥川の維持管理



企業ボランティアによる活動

4. 飛鳥宮跡周辺地区の現状と課題

(4) 周遊およびアクセス条件の現状と課題

課題4：地区へのアクセス性向上と地区内の周遊性が十分ではない

- ・飛鳥宮跡周辺地区へのアクセス道路において、狭隘区間（石舞台古墳周辺等）があり、大型バスの交通支障や歩行者等との安全面が課題となっている。
- ・飛鳥宮跡周辺地区の玄関口として、水落遺跡周辺、奈良県立万葉文化館、石舞台古墳が想定されるが、駐車場及び観光案内の拠点としての機能が充実していない。
- ・飛鳥京中心部の宮跡整備と併せ、宮跡及び地区内への周遊を高めるため、観光客を誘導する仕組みが必要。



石舞台古墳周辺の狭隘区間

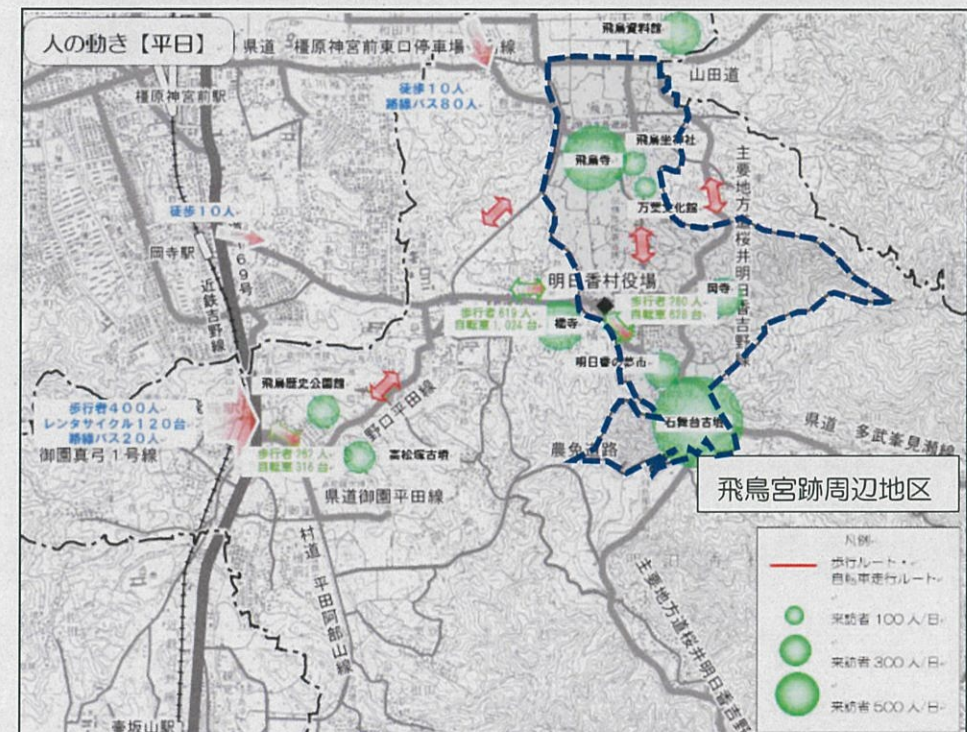


水落遺跡周辺の駐車場



地区への主なルートと駐車場の位置

出典：明日香村資料



来訪者数と主な立ち寄りポイント

出典：明日香村資料

4. 飛鳥宮跡周辺地区の現状と課題

(5) 特産品の開発の現状と課題

課題5：明日香の特長を活かした製品の不足

- 明日香村内では、棚田状の農地など狭い農地が多いなかで、米及びイチゴやトマト、キュウリなど少量多品目の農作物が生産されている。農地を守ることが景観保全に繋がっている。
- 村には加工グループが多く存在し、商品開発を行っている。
- 明日香の夢市及び明日香夢の旬菜館に加工施設があるなど地元産品を活用した特産品の開発が行われているが、明日香への訪問者が継続して購入する状況にはなっていない。



明日香夢の旬菜館



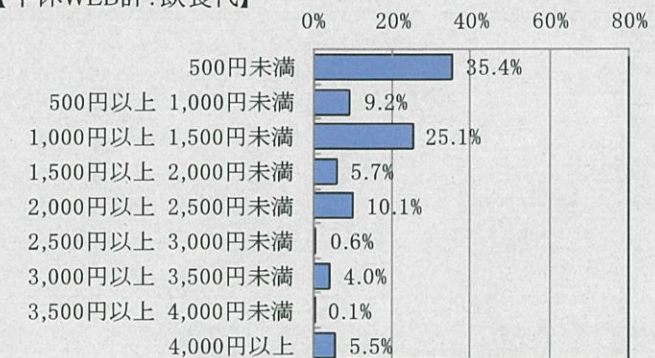
カタログ販売の取組み

- 明日香村内における観光消費額をみてみると、土産代は500円未満が約61%と大半を締め、飲食代についても500円未満が最も多く約35%となっている。
- 特産品などの開発により、観光消費額をあげることが喫緊の課題である。

【平休WEB計：土産代】



【平休WEB計：飲食代】



明日香村における観光消費額
出典：2013年明日香村観光実態調査